

林修 × 朝日新聞

企画・制作 朝日新聞メディアビジネス局 広告特集
協力 株式会社ワタナベエンターテインメント

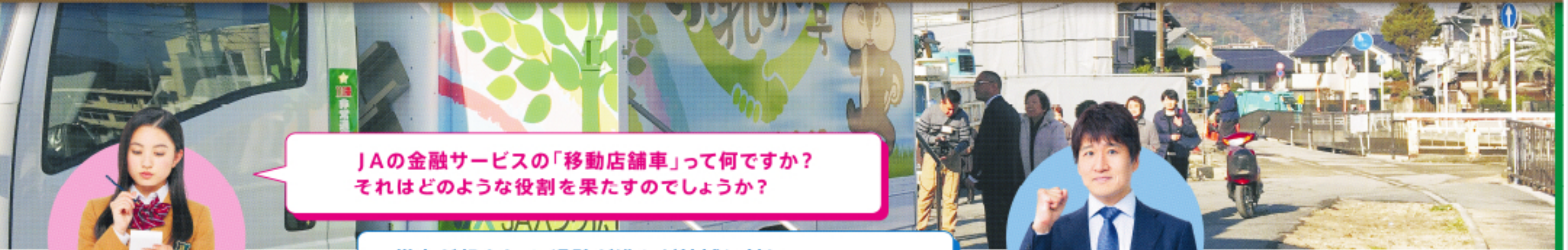


林修の特別授業

【今日のテーマ】

協同組合
第12回

協同組合の役割や取り組みについて、おなじみ林修先生がわかりやすく解説する特別授業。
今回は、昨年夏の豪雨で被害を受けた広島県で、地域の暮らしを支えるJAの金融サービスの「移動店舗車」の取り組みを紹介します。



JAの金融サービスの「移動店舗車」って何ですか？
それはどのような役割を果たすのでしょうか？

災害が起きたり、過疎が進んだ地域に対し、
暮らしを支える金融サービスを提供する機能を果たします。

金融サービスの店舗がない地域で
くらしを支える

被災地のくらしを金融サービスで支える (JA安芸)



林 昨年は西日本での「平成30年7月豪雨」や「平成30年北海道胆振東部地震」など、自然災害の多い年でした。望月さんも災害への備えをしていますか。

望月 はい、わが家ではいつも食料や電池を備蓄して、いざという時の連絡方法も家族で話し合っています。

林 それはいい心がけですね。ただ被災から少し時間が経つと、他にも必要になるものがあるんです。何かわかりますか。

望月 何でしょう、すぐには思いつきません。

林 それはお金です。たとえば避難所生活をしている人でも、数日も経てば買い足さなければならぬものが出てくるでしょうし、公共料金などの支払期日がやってくるかもしれません。

望月 たしかに、いつも多額の現金を手元に持っている人はあまりいませんし、災害時ともなればなおさらですね。

林 JAではそうしたお金の需要に応えるために、金融サービスの「移動店舗車」を被災地に派遣しています。昨年夏の豪雨被害に見舞われた広島では、JA安芸の管内に近隣のJA尾道市、

JA三原、JA山口中央から金融サービスの「移動店舗車」が応援に来たそうです。

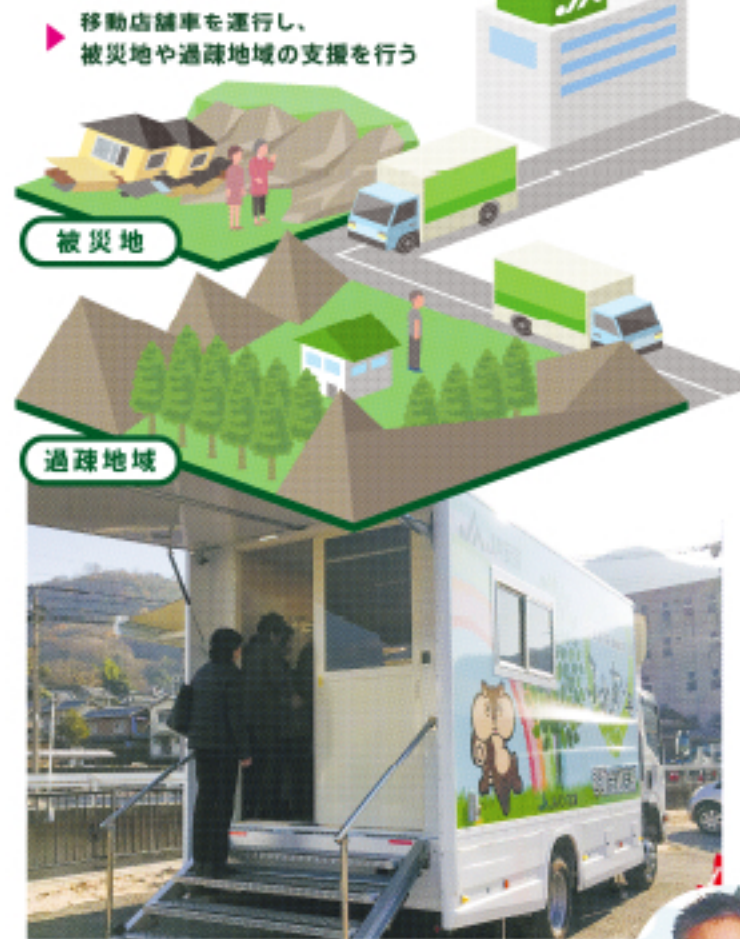
望月 その「移動店舗車」は、もともと災害の時に備えて用意しているものですか。

林 一番の目的は、近くに店舗がない過疎地域や、移動手段を持たない高齢者などに金融サービスを提供することですが、災害支援も重要な役割のひとつです。安芸では車体の側面に書かれた三原や山口といった地名を見て、他地域のJAのみなさんがこんなに応援してくれているのかと、とても喜ぶ高齢者もいたそうです。

望月 あらためて、協同組合は「人と人の助け合い」なんだとわかりますね。

林 JA安芸管内の坂地区などでは、土砂の流入で人が住めなくなった家屋の解体が始まり、ずいぶん寂しくなった地域もあるようです。農地もかなりの被害を受けましたが、復興はライフラインが優先ですので、人々のくらしと農業がもどるにはまだ時間がかかるでしょう。

望月 それまでの間、JAの金融サービスの「移動店舗車」が被災した人たちのくらしの支えになりますね。金融サービス以外にも地域のライフラインを支えるJAの取り組みには、私も期待しています。



被災直後は日に100人以上が利用したことも



昨年の豪雨の被害額は水害としては過去最大



JA安芸管内では3つの主要店舗が被災



「YOYOビール」には取地区のムラサキ麦を使用



「YOYOビール」の「ようよう」は、豪雨被害が特に大きかった坂地区の方で「ありがとう」の意味です。機会があればみなさんにも飲んで楽しんでいただければ、地域の生産者にとって大きな喜びです。
JA安芸 総務管理部長 前森保さん

昨年11月から、JA安芸の金融サービスの新しい「移動店舗車」が地域で活躍しているそうです。

非常時でなくても、身近な場所で金融サービスが利用できるのはとてもありがたいことですね。



今日のまとめ
地域のくらしを支えるには、
JAの金融サービスの「移動店舗車」の役割が大きい

予告 協同組合 第13回は3月下旬、「地域の未来を支える」をテーマに掲載の予定です。
BS朝日「林先生が世の中のギモンを徹底解説『よくわかる』なっとく授業」制作中!

東進ハイスクール 講師
林修先生

生徒
望月まりなさん

はやし、おとせ、東京の大学法学部卒業。東進のTVコマercialのセリフ「いつやるか? 今でしょ!」が2013年話題・流行語年最大賞に。受験生から絶大な信頼を得る傍ら、多数のTVレギュラーを務め多忙な日々を送る。

ちづね、まりな、2002年9月22日生まれ。福岡県出身。7歳からダンスを始め、国内の大会だけでなく、海外の大会でも多くの優勝経験がある。ダンスと学業との両立を目指す女子高校生ダンサー。現在は朝日新聞大学入試キャンペーンイメージキャラクターを務める。